

CamPilot URH900A

ユーザーマニュアル

ウェブの監視と設定

目次

| | |
|-------------|-----------|
| NVT Webサーバー | 3 |
| Web監視ページ | 5 |
| Web設定ページ | 7 |
| 状態 | 7 |
| 通信網 | 9 |
| ビデオソース | 10 |
| 動作を検知する | 11 |
| ROIエンコーディング | 12 |
| OSD | 13 |
| ビデオプロフィール | 14 |
| 音声プロフィール | 16 |
| ストリーミング設定 | 17 |
| イベント | 19 |
| ローカルストレージ | 21 |
| 日付時刻 | 23 |
| UPnP | 24 |
| Bonjour | 25 |
| Syslogd | 26日 |
| SNMP | 27日 |
| ポート | 28 |
| 安全保障 | 29日 |
| DDNS | 30 |
| アカウント | 31 |
| ファームウェアの更新 | 33 |
| 工場出荷時の設定 | 34 |
| 報告する | 35 |
| オープンソース情報。 | 36 |
| リブート | 36 |
| ログアウト | 36 |

NVT Webサーバー

- NVTのWebサーバーは2つの部分で構成されています。パーツは、Web監視ページとWeb設定ページです。
- 使用するインターネットブラウザは、Internet Explorer 8.0以上を推奨します。
- NVTに割り当てられているIPアドレスをWebブラウザのアドレスウィンドウに入力し、「Enter」キーを押します。(デフォルトのIPアドレスは192.168.1.2です。)
- アクセス前のチェックポイント
 - 1) NVT IPアドレスの範囲は、監視PCのIPアドレスの範囲と同じである必要があります。
 - 2) NVT IPアドレスは、監視PCに接続されているローカルネットワーク上で一意である必要があります。

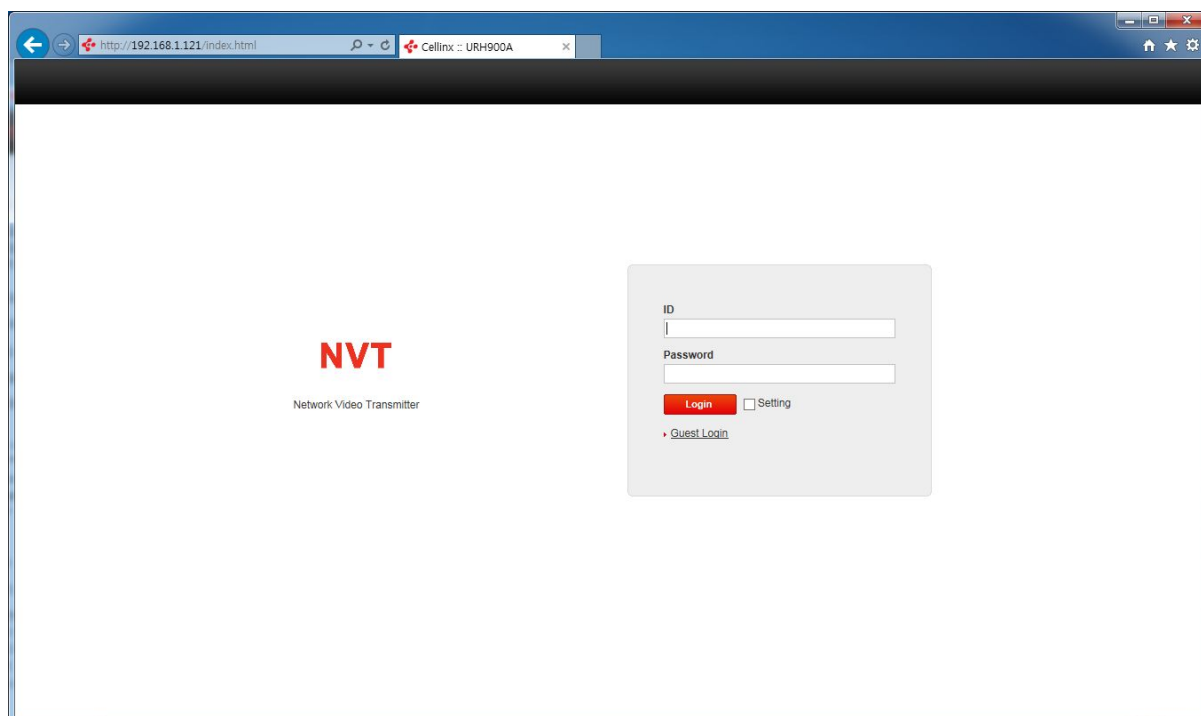
管理者接続 (初期ページ) [ID] ルート (変更不可)

【パスワード】 パス (デフォルトのパスワード。Web設定ページで変更できます)

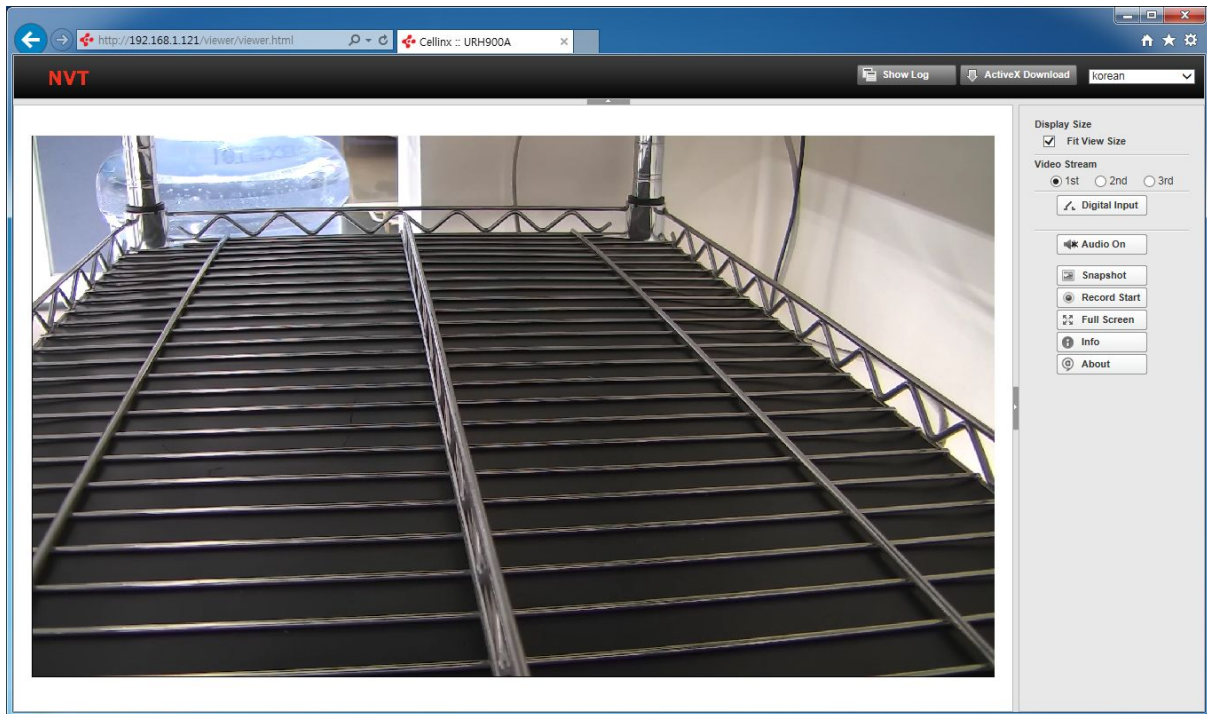
- IDとパスワードを入力して[ログイン]ボタンをクリックすると、Web監視ページが表示されます。(IDとパスワードを入力し、[設定]チェックボックスをオンにしてからログイン]ボタンをクリックすると、Web設定ページが表示されます。)

ゲスト接続 (最初のページ) [ゲストログイン] IDとパスワードなしで[ログイン]ボタンの下にある[ゲストログイン]のテキストをクリックします。

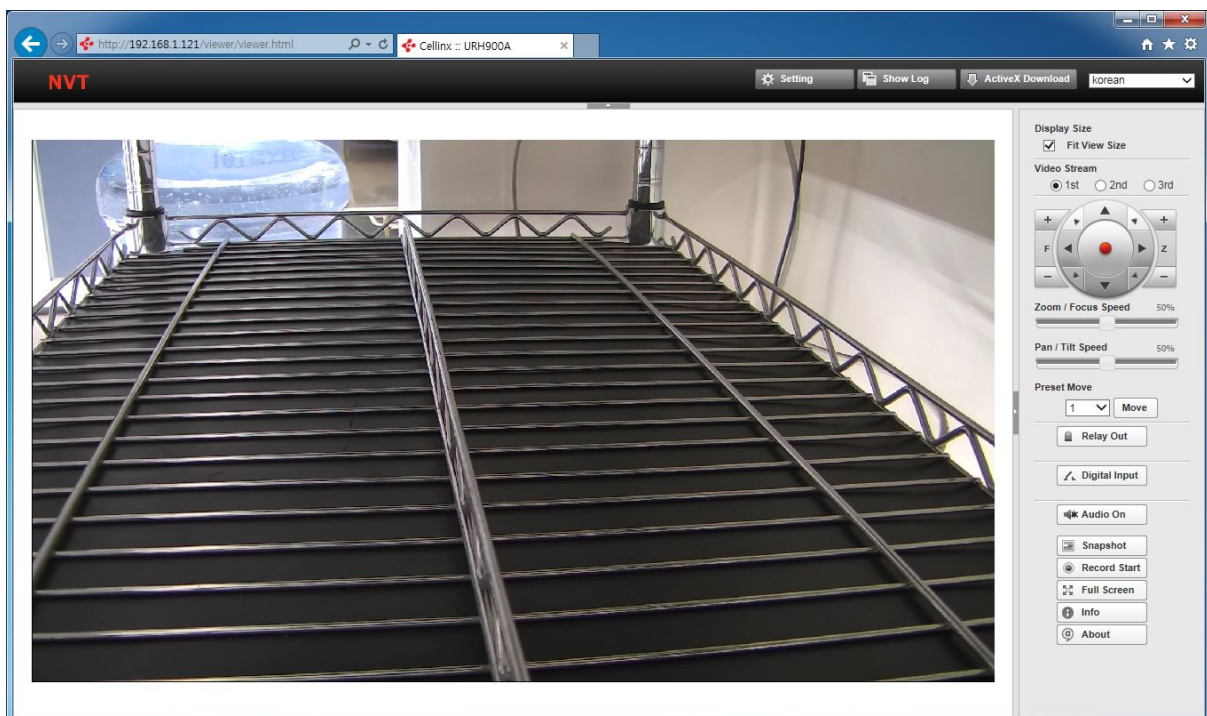
- ゲスト接続では、Web監視ページで制限的に許可されている機能のみ利用可能であり、Web設定ページへのアクセスは許可されていません。



▶ Webサーバーの初期ページ



▶ Web監視ページ1 (ゲスト接続)



▶ Web監視ページ2 (管理者接続)

次のページから、管理者の接続に基づいて記事を説明します。

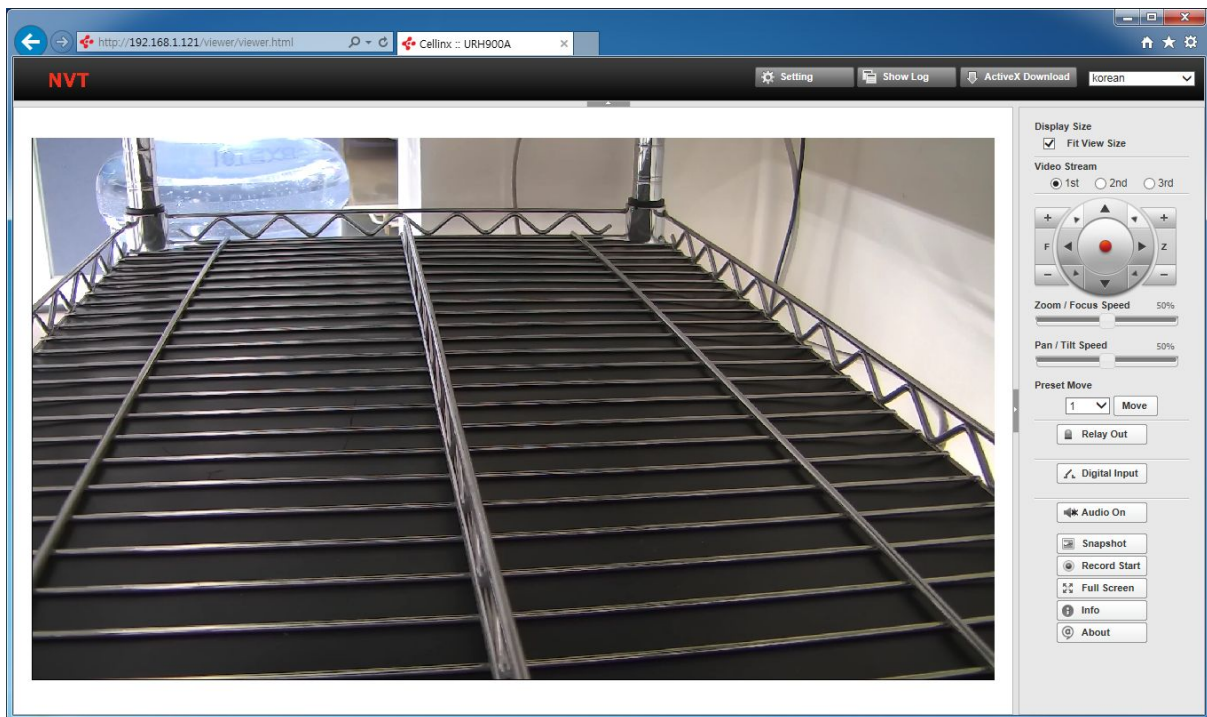
Web監視ページ

【設定ボタン】 Web設定ページに移動できます (ライブボタン : Web設定ページ-> Web監視ページ)

【ログを表示ボタン】 ログデータのウィンドウが表示されます。

【ActiveXダウンロードボタン】 ビデオ監視用のActiveXが自動的にダウンロードされない場合は、このボタンをクリックします。

【言語メニュー】 言語は、言語ボックスの項目から選択できます。



▶ Web監視ページ2 (管理者接続)

【ディスプレイサイズ】 [ビューサイズに合わせる]チェックボックス : このチェックボックスをオフにすると、調整バーが表示されます。

バーは監視画像を縮小または拡大します。

【ビデオ&ストリーム】 ストリームから選択されたものがページに表示されます。

【PTZパネル】 (使用する前に、製品の機能の可用性またはインストールされている機器の接続ステータスを確認してください。)

- PTZ : パン/チルト (左右/上下) 機能の方向キーを使用します。「F」はフォーカスを意味し、「Z」はズームを意味します。

- ズーム/フォーカス速度バー : ズームまたはフォーカス機能の速度値

- チルト/パン速度バー : チルトまたはパン機能の速度値

【プリセットムーブ】 「移動」ボタンをクリックすると、PTZがプリセットPTZ調整値として機能します。(使用前に、製品の機能の可用性またはインストールされている機器の接続ステータスを確認してください。)

【リレーアウトボタン】 NVTに接続されている外部デバイスを制御します。(ご使用前に、設置機器の接続状態や仕様をご確認ください。)

【デジタル入力】 NVTのデジタル入力接点信号が発生した場合の状態を示します。

【音声オン/オフ】 NVTに接続されたマイクのオーディオ信号を監視できます。(ご使用前に、設置機器の接続状態や仕様をご確認ください。)

[スナップショット] 現在のビデオストリームのJPEG画像をキャプチャします (JPEGファイルパス: C:/)。ブラウザは管理者権限で実行する必要があります。

【収録開始】 現在のビデオストリーム (AVIファイルパス: C:/) のビデオを記録します。記録時に赤いアウトラインが表示されます。ブラウザは管理者権限で実行する必要があります。

【情報】 画像上部に転送データの情報を表示します。

- 画像情報: FPS (フレーム/秒) /カメラ (チャンネル) 名/解像度
- イベントステータス: モーション検出 (赤) /ビデオ信号 (緑) /デジタル入力 (青)
- 動体検知を使用する場合は、「動体検知」の「有効」にチェックを入れてください。

/30/cam1/720x480



▶ Web監視ページ (情報ボタン)

[約] ActiveX情報を表示します。

Web設定ページメニューボ

タン

【住む】 これにより、Web監視ページに移動できます。

【公演】 NVTログデータのウィンドウが表示されます。

【言語】 アイテムから言語を選択できます。(英語、韓国語)

【言語メニュー】 言語は、言語ボックスの項目から選択できます。

状態

The screenshot shows the NVT web interface with the following data:

| Network Status | |
|----------------------------|--------------------------|
| MAC Address | 00:0A:61:13:20:DC |
| IP Address | 192.168.1.121 |
| Subnet Mask | 255.255.255.0 |
| Gateway | 192.168.1.1 |
| Default DNS | 168.126.63.1 |
| IPv4 Link Local IP Address | 169.254.32.220 |
| Received Data | 3.69 Kbps |
| Transmitted Data | 2.05 Kbps |
| Link Speed / Duplex Mode | negotiated, 100Mb/s Full |

| Model Information | |
|---------------------|---|
| Model | URH900A |
| Serial Number | S145000476 |
| System Mode | Encoder |
| Firmware Version | ver. 3.2.1.020b, Build at 2018-03-12 |
| Boot Loader Version | U-Boot 2010.06 (Oct 01 2013 - 02:27:23) |
| Camera Module Info | 1080p_30fps |
| Local Storage Info | [sd] uninstalled [usb] uninstalled |

| URH900A Time | |
|--------------|--|
| Server Time | 1970년 1월 3일 오전 4:23:51 (GMT+09:00) Seoul |
| Running Time | 1 day, 19:23 |

| CPU Temperature | |
|-----------------------|-------------------------|
| Min. / Current / Max. | 64 / 66 / 71 (unit: °C) |

▶ Web設定ページ (ステータス)

ネットワークステータス[MACアドレス] NVTの一意のアドレス

【IPアドレス】 設定されているIPアドレス (デフォルト: 192.168.1.2)

【サブネットマスク】 サブネットワーク範囲の値 (デフォルト: 255.255.255.0)

【ゲートウェイ】 サブネットワークのゲートとして機能するネットワークデバイスのIPアドレス (デフォルト: 192.168.1.1)

【デフォルトDNS】 DNSサーバーのIPアドレス (デフォルト: 168.126.63.1)

【IPv4リンクローカルIPアドレス】 サブネットワークでの自動接続用に自動的に設定されるIPアドレス (169.254.xxx.xxx)

【受信データ】 受信したデータの数

【送信データ】 送信されたデータの数

【リンク速度/二重モード】 ネットワーク機器に接続されている接続ステータス。

モデル情報【モデル】 製品モデル名

【シリアルナンバー】 製品のシリアル番号

【システムモード】 NVT実行モード

【ファームウェアバージョン】 ファームウェアのバージョン

【ブートローダーバージョン】 ブートローダーのバージョン

【カメラモジュール情報】 内蔵カメラモジュールのバージョン

[ローカルストレージ情報] SD (SDHC) カード情報 (マウントステータス/タイプ/フォーマット/ボリューム)

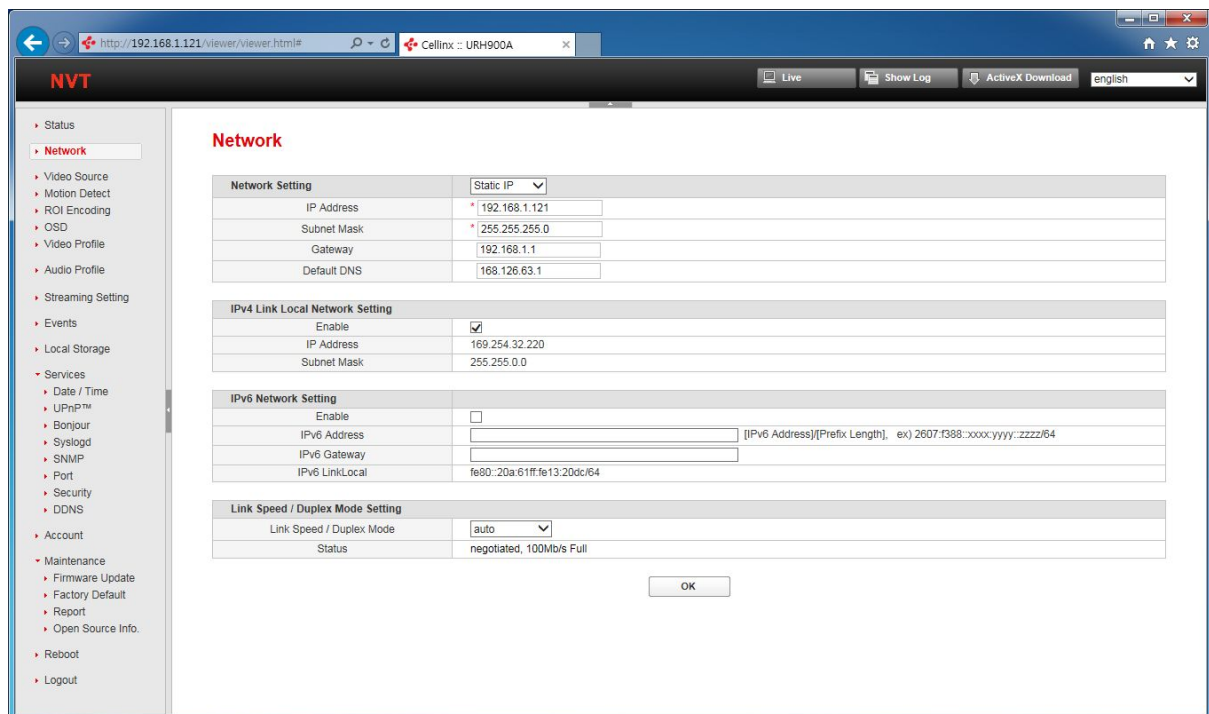
NVT時間[サーバー時間] NVT時間情報

[実行時間] 起動後の実行時間

CPU温度

[最小/現在/最大 (単位 : °C)] 起動後のCPUの最小/現在/最大値

通信網



▶ Web設定ページ (ネットワーク)

ネットワーク設定

【静的IP / 動的IP】

「静的IP」または「動的IP」を選択します。動的IPを使用するには、DHCPをサポートするルーターがローカルネットワーク上にある必要があります。

【IPアドレス/サブネットマスク/ゲートウェイ/デフォルトDNS】

ネットワークに適切な値を設定します (適切なネットワーク値については、ネットワーク管理者に問い合わせてください)。

IPv4リンクローカルネットワーク設定

この機能により、「IPv4リンクローカルネットワーク」機能をサポートするNVRを使用する場合に、NVTのIPアドレスを設定しないようにすることができます。

[有効にする] アクティベーションのチェックボックスをオンにします (デフォルト: 有効)

[IPアドレス、サブネットマスク] これらは自動的に設定されます。

IPv6ネットワーク設定[有効] アクティベーションのチェックボックスをオンにします (デフォルト

: 有効)

[IPv6アドレス、ゲートウェイ] ネットワークに適切な値を設定します (適切なネットワーク値については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。) IPv6アドレスの「/」の横の数字は、サブネットワークの設定値を意味します。

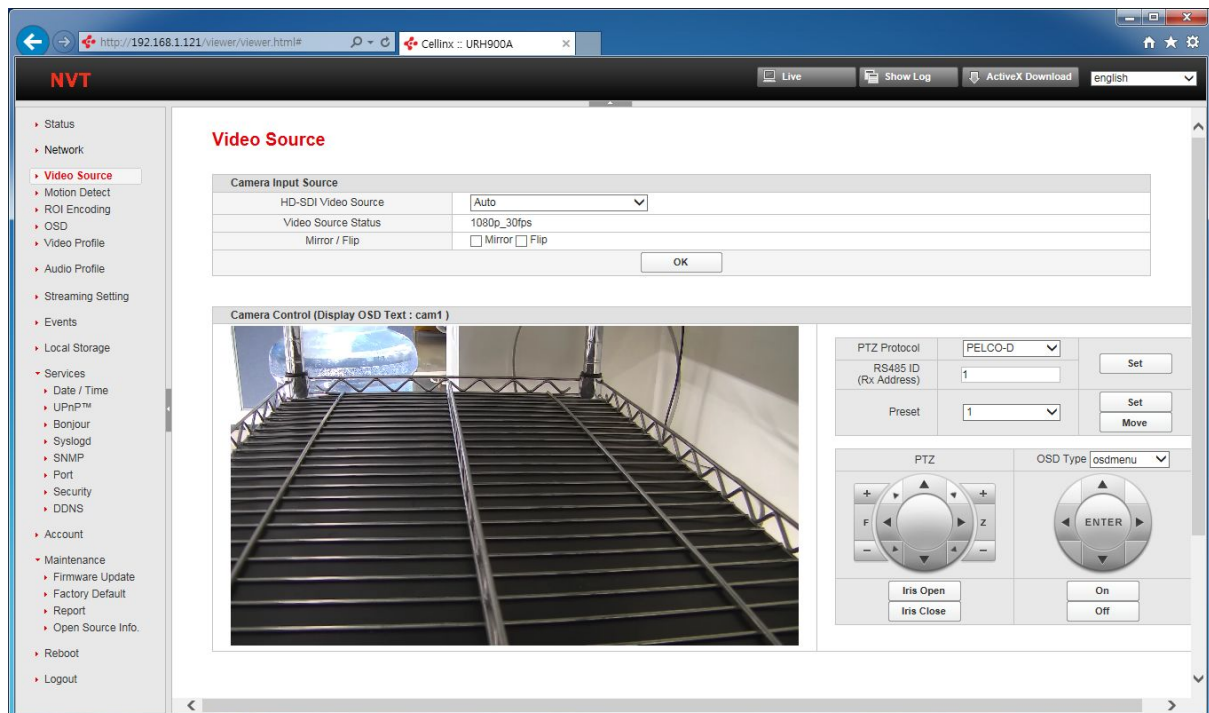
[IPv6 LinkLocal] これは、ローカルネットワークデバイス間の通信によって自動的に設定されます。

リンク速度/全二重モード設定[リンク速度/全二重モード] 自動ネゴシエーションモードで接続されているネットワークデバイスに問題がある場合は、指定された値を使用します。NVTとネットワークデバイスの値は同じである必要があります。

[状態] 現在のネットワーク接続のステータス

[OKボタン] このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

ビデオソース



▶ Web設定ページ (動画ソース)

カメラ入カソース[HD-SDIビデオソース] 入力信号は手動で変更できます。AUTOでない場合は、カメラ側と同じに設定する必要があります。

[ビデオソースステータス] 入力信号が表示されます。

【ミラー/フリップ】 左右逆/上下逆

【OKボタン】 「OK」ボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

カメラ制御

- 製品の関連仕様およびデバイスとのシリアル通信接続を確認してください。

[PTZプロトコル] この値は、接続されているPTZメカニズムまたはカメラモジュールのプロトコルと同じである必要があります。「設定」ボタンをクリックすると、変更した設定値が適用されます。

[RS485 ID (Rxアドレス)] この値は、接続されているPTZメカニズムまたはカメラモジュールのIDと同じである必要があります。「設定」ボタンをクリックすると、変更した設定値が適用されます。

【プリセット】 セットボタン (PTZ座標値をボックスの数値に保存します)/移動ボタン (数値でPTZカメラを移動できます)

[PTZパネル] これは、パン/チルト/ズーム/フォーカスの調整用です。

【アイリスオープン/アイリスクローズボタン】 これはアイリスの調整用です。

【OSDタイプ】 デフォルトは「osdmenu」です。プルダウンの項目のうち「カスタム」に設定すると、指定したデータを送信できます。(これはプログラムの開発用です。)

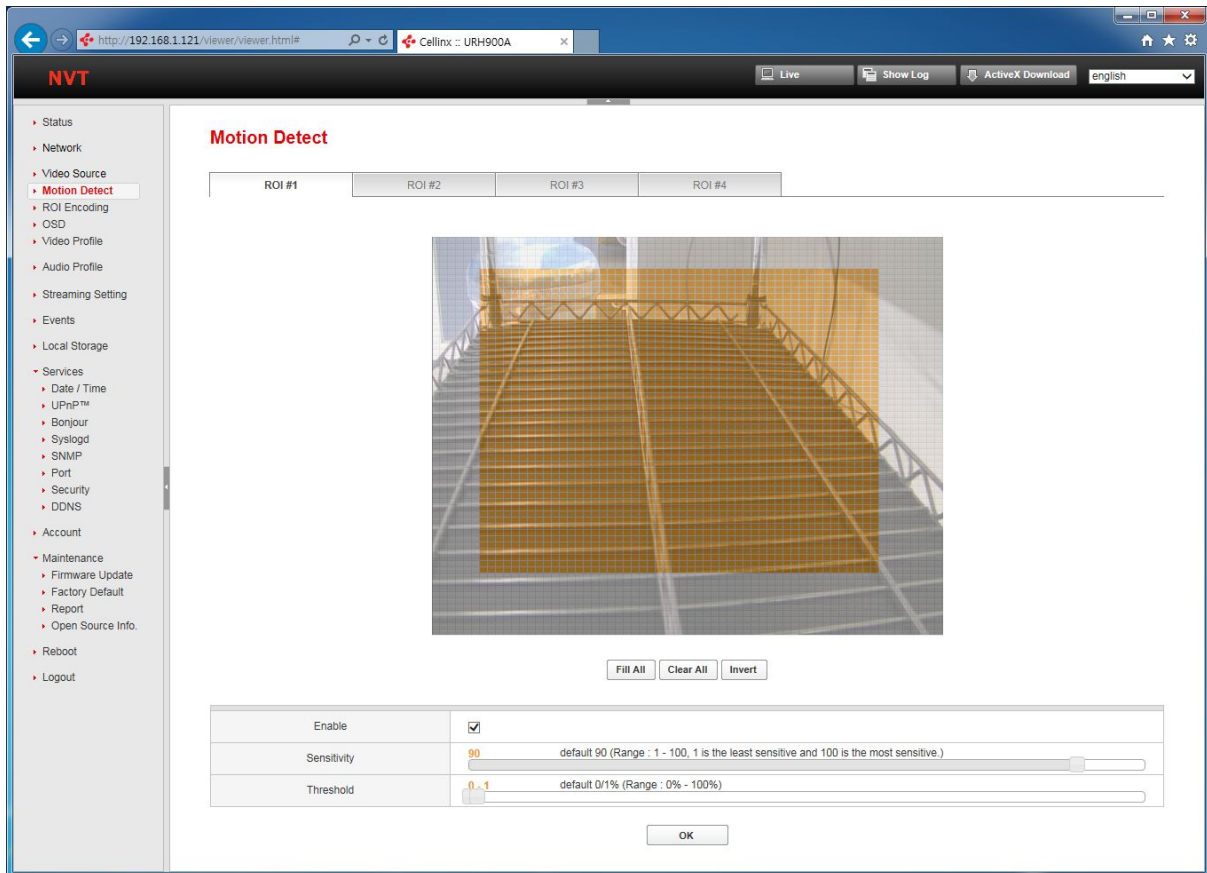
【ENTERボタン/方向キーパネル】 カメラモジュールのOSDに入り、項目と値を移動/選択できるようにします。ENTERボタン (入力/設定)/方向キー (項目への移動/値の選択)

一般

[絞り、明るさ、コントラスト、彩度、色相] デフォルトが推奨されます。

【OKボタン】 「OK」ボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

動作を検知する



▶ Web設定ページ (モーション検知)

概観

- 点をクリックし、画像上でドラッグして検出範囲を作成します。モーションを設定して検出すると、Web監視ページのビデオ画像の上部バーに赤いマークが表示されます。(上のバーは「情報」ボタンをクリックすると表示されます。)

[ROI#1~4タブ] 4つの範囲は個別に設定できます。この機能は、さまざまなモーション検出範囲をサポートするNVCで役立ちます。(例: ROI#1とROI#2の両方の範囲で検出した場合、特定のイベントが発生します)

【すべて記入ボタン】 モーション検出のすべての領域を選択します。

【すべてクリアボタン】 選択した領域の選択を解除します。

【反転ボタン】 選択した領域を反転します。

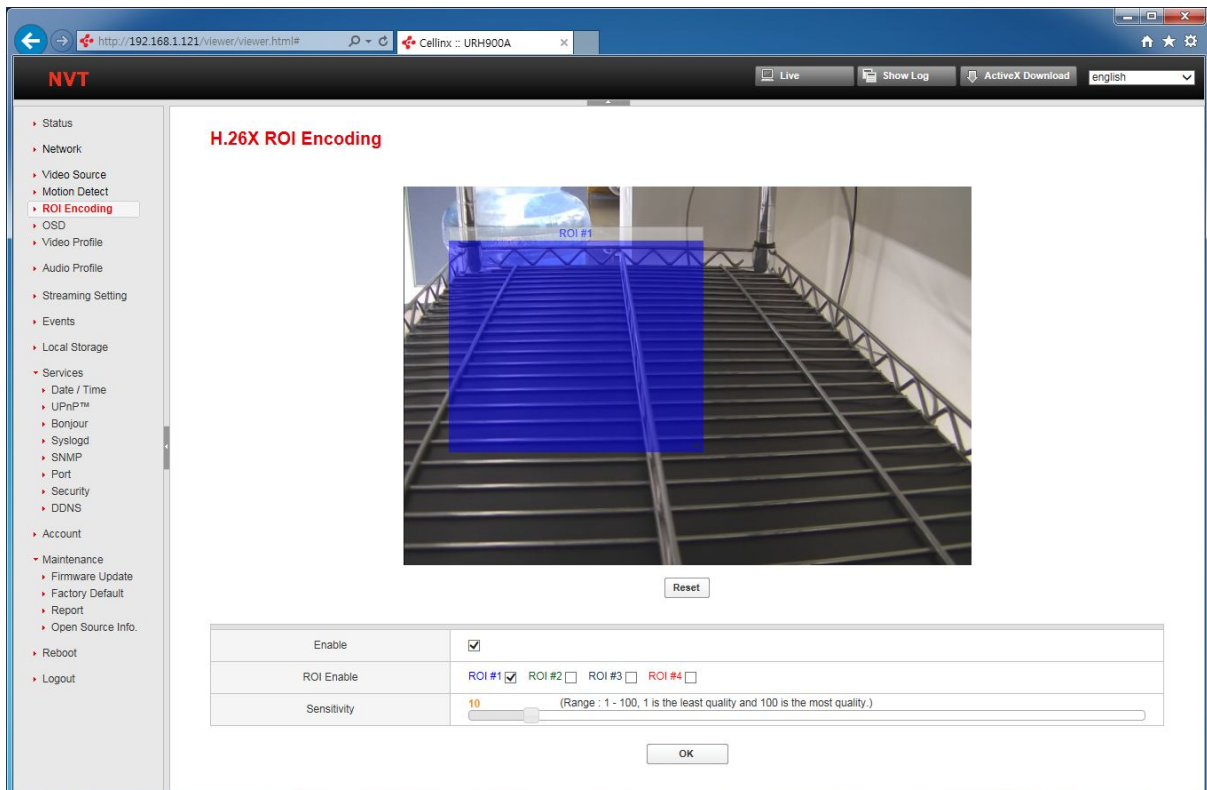
[有効にする] アクティブーションのチェックボックスをオンにします。

【感度】 値が大きくなると、感度が高くなります。

【しきい値】 画像全体に対する可動部分の比率が範囲内にある場合、検出がチェックされます。

【OKボタン】 このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

ROIエンコーディング



▶ Web設定ページ (ROIエンコーディング)

概観

- ROI (関心領域) エンコード機能: ROIで指定された領域は、他の領域と比較して比較的良好な画像を送信するようにエンコードされます。

[有効にする] アクティベーションのチェックボックスをオンにします。

[ROI有効化チェックボックス] 「ROI #1~4」から選択します。領域を指定できる長方形のボックスが表示されます。クリックしてドラッグし、領域の位置とサイズを調整します。ROI #2~4のアクティブ化は、複数のリージョンをサポートするNVCの便利な機能です。

【感度】

1~100 (値が高いほど敏感です)

値を約50に設定すると、目の違いがわかります。

(ビデオのビットレートは推奨ビットレートより低く設定されていますが、ROI指定領域の画質は維持できます。)

[OKボタン] このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

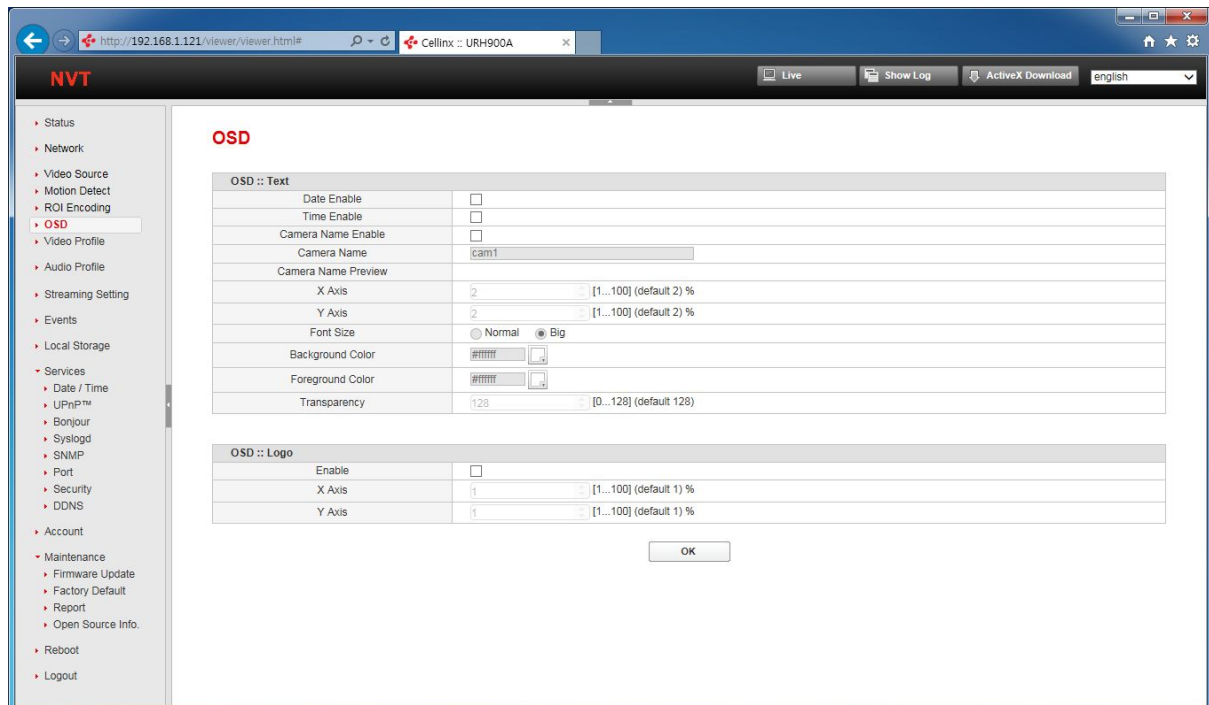
例

- 条件: 1920x1080解像度エンコーディング、1.5 Mbpsネットワーク帯域幅

- 設定: ROIを画像全体の1/4に設定し、感度を40~60の値に設定します。

- Effect: The quality of the image set to the ROI is similar to the image that is transferred by the transfer rate "4Mbps" (the default value of 1920x1080 resolution). You can also monitor the circumstances for the non-ROI part.

OSD



▶ Web設定ページ (OSD)

OSD :: Text

[日付有効/時間有効/カメラ名有効] NVTのビデオにアイテムのテキストを表示するには、アクティブ化を確認してください。
(これはNVT OSD (オンスクリーンディスプレイ)機能であり、カメラモジュールOSD機能の機能とは異なります。)

【カメラ名】 OSDに名前を入力します

【X軸】 OSDテキストのX軸の位置を調整します。

【Y軸】 OSDテキストのY軸の位置を調整します。

【フォントサイズ】 OSDテキストのサイズを調整します。

【背景色】 テキストの背景色を選択します。

【前景色】 テキストの色を選択します。

OSD ::ロゴ

- 使用する前に、ファームウェアアップデート/OSDロゴアップデートのエントリを参照し、ロゴファイルをアップロードしてください。

[有効にする] アクティベーションを確認する

【X軸】 OSDロゴのX軸の位置を調整します。

【Y軸】 OSDロゴのY軸の位置を調整します。

【OKボタン】 このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

ビデオプロフィール

The screenshot shows the NVT web interface for configuring video profiles. The main content area is titled 'Video Profile' and features a 'Preview' window showing a live camera feed of a staircase. Below the preview are three configuration sections:

- Video Setting:** A table with three columns for 1st, 2nd, and 3rd streams. Fields include Proprietary Stream Port, Compression (h264, h264, h264), Resolution (1080p, d1, cif), Bitrate Type (CBR/VBR), Frame Per Second (30, 30, 5), and Group Size (60, 60, 60).
- Expert Video Setting:** Fields for H.264 Reference Frames (1X, 2X, 4X), Capture Mode (squeeze, squeeze, squeeze), Encoder Profile (baseline, baseline, baseline), Entropy Coding (CAVLC, CAVLC, CAVLC), and Jumbo Frame (processing, I Thr., P Thr.).
- Jpeg Capture:** Fields for Enable (checked), Resolution (1 Stream (1080p), 2 Stream (d1), 3 Stream (cif)), and Quality (6, [1..6]).

▶ Web設定ページ (動画プロフィール)

プレビュー[ストリーム] 選択したビデオが表示されます。

ビデオ設定

- 各ストリームは、個別に割り当てられた値を持つことができます。

【独自のストリームポート】 ビデオおよびオーディオデータを転送するためのポート番号

【圧縮】 ビデオデータを転送するための圧縮タイプ (H.265 / H.264 / MJPEG)

【解決】 画像サイズ。解像度は詳細モデルによって異なります。

【ビットレートタイプ】

CBR (固定ビットレート) : 単位はkbpsです。

(推奨 : 3840X2160-> 10000、2592X1944-> 8000、2048X1536-> 6000、1080p-> 4000~6000、720p-> 2000~3000、D1-> 1000~1500、CIF-> 500~750) VBR (可変ビットレート) : 1~6 (1 : 最高の品質)

【フレーム/秒】 1秒間に転送されるフレームの数 (デフォルト : 30)

【グループサイズ】 1フレームの作成期間 (デフォルト : 60)

エキスパートビデオ設定

【H.264リファレンスフレーム (スキップモード)】

値が「4X」に設定された後、NVCはより少ないシステムリソースで「4X」で録画ビデオを再生します。

【撮影モード】

モニターの解像度またはNVCパーティションディスプレイの比率がSD (Standard Definition) 比率である場合、HD (High Definition) ビデオ比率 (16 : 9) をSDビデオ比率に変更する必要があります。

(4:3)。

- 1) スクイーズ: ビデオを水平方向に引き伸ばし、4:3の比率にします。
- 2) クロップ: ビデオを左端と右端でトリミングします (ビデオの比率は維持されます)

【プロフィール】

ビデオの遅延 (エンコードからデコード) は、値 "baseline" (デフォルト) で最も小さくなります。圧縮比、システム負荷: ベースライン<メイン<高NVC仕様は、プロファイルがサポートされているかどうかを確認する必要があります。「ハイプロファイル」の帯域幅は「ベースライン」の帯域幅よりも20%小さくなります。

【エン트로ピーコーディング】

NVTはCAVLCとして実行されます。(圧縮比: CAVLC < CABAC、システム負荷: CAVLC < CABAC)

【ジャンプフレーム】

この関数は、特定の値を超えるIフレームまたはPフレームを破棄または処理します。(I Thr.: Iフレームしきい値、P Thr.: Pフレームしきい値)

JPEG Capure

- これは特定のプログラムを開発するためのものです。

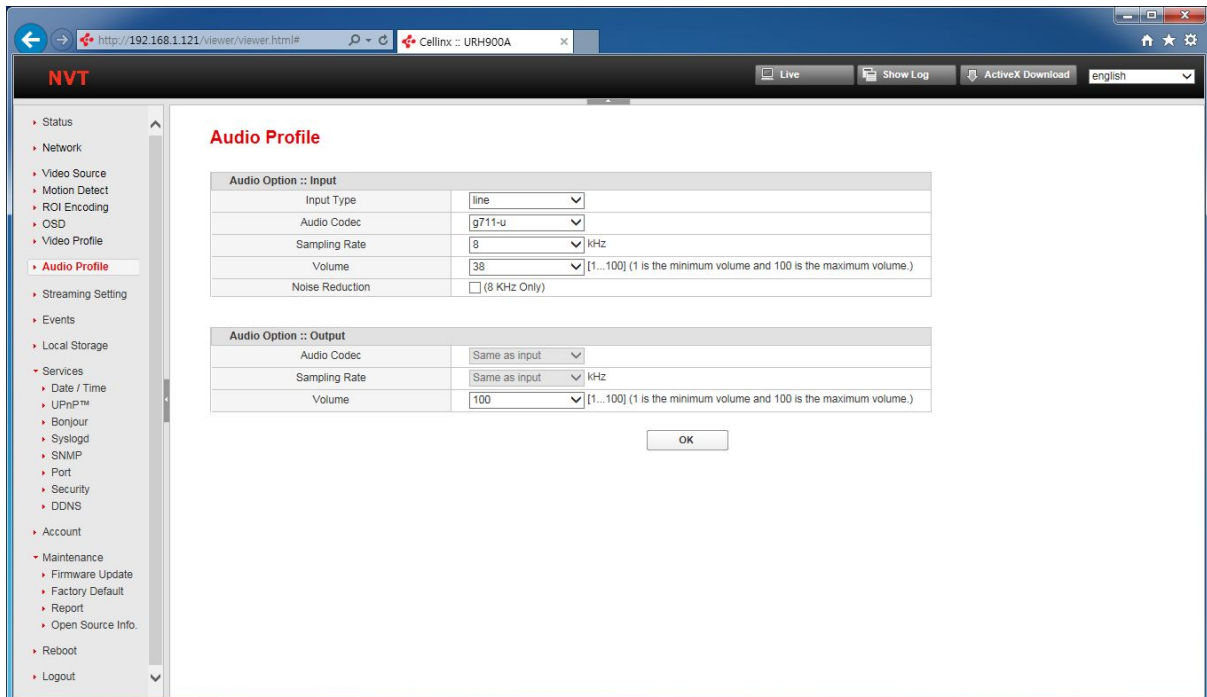
[有効にする] オンにすると、NVTがJPEG画像をキャプチャします。

[解決] 解像度を調整します

【品質】 1/2/3/4/5/6

【OKボタン】 このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

音声プロファイル



▶ Web設定ページ (音声プロファイル)

オーディオデータの再生に監視プログラムを使用する場合、プログラムはNVTのコーデックをサポートする必要があります。

音声オプション::入力[入力タイプ] ライン

(固定値)

【オーディオコーデック】 G.711-u / G.711-a / G.726

(品質 : G.711 > G.726、再生互換性 : G.711 < G.726)

【サンプリングレート】 8kHz / 32kHz (または8kHz; MR904で固定)

【巻】 1~100

オーディオオプション::出力[オーディオコーデック] 入力側設定値と同様に動作します。

【サンプリングレート】 入力側設定値と同様に動作します。

【巻】 1~100

【OKボタン】 このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

ストリーミング設定

Streaming Setting

| Proprietary Streaming Setting | | 1st Stream | 2nd Stream | 3rd Stream |
|-------------------------------|--|----------------------|----------------------|----------------------|
| Proprietary TCP Port | | 1852 [1024..6553] | 1853 [1024..6553] | 1854 [1024..6553] |
| Connection Lists | | | | |

| RTP/RTSP Streaming Setting | | 1st Stream | 2nd Stream | 3rd Stream |
|----------------------------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| RTSP Port | | 554 [1..65535] | | |
| RTSP URI | | rtsp://192.168.1.121:554/AVStream1_1 | rtsp://192.168.1.121:554/AVStream1_2 | rtsp://192.168.1.121:554/AVStream1_3 |
| Connection Lists | | | | |

| Multicast Setting | | 1st Stream | 2nd Stream | 3rd Stream |
|-------------------|--|------------------------|-----------------------|-----------------------|
| Video Address | | 224.16.17.2 | 224.16.17.3 | 224.16.17.4 |
| Video Port | | 47806 [1024..6553] | 47806 [1024..6553] | 47806 [1024..6553] |
| Video TTL | | 64 [1..255] | 64 [1..255] | 64 [1..255] |
| Audio Address | | 224.16.17.5 | | |
| Audio Port | | 47806 [1024..65535] | | |
| Audio TTL | | 64 [1..255] | | |

| Advanced Setting | |
|-------------------------|---|
| Use RTSP Authentication | <input checked="" type="checkbox"/> |
| Use RTCP | <input checked="" type="checkbox"/> |
| Use RTP/RTCP Keep-Alive | <input checked="" type="checkbox"/> 60 [5..600] |
| Use Onvif Discovery | <input checked="" type="checkbox"/> |
| Use Onvif WS-Security | <input type="checkbox"/> |
| The other protocols | Genetec Protocol, Onvif |

OK

▶ Web設定ページ (ストリーミング設定)

独自のストリーミング設定[独自のTCPポート] 専用プロトコルによる送信用のポート (これは、項目「ビデオプロファイル/ビデオ設定/独自のストリームポート」の値に依存します)

【接続リスト】 接続されている監視デバイスのIPアドレスとポート情報。

RTP / RTSPストリーミング設定[RTSPポート] RSTPプロトコルによる送信に使用されるポート番号

[RTSP URI (Uniform Resource Identifier)] RTSPを再生するためにPC監視プログラムで使用されるパス

デフォルトのパスは次のとおりです。

- 1) 1番目のストリーム> rtsp : //192.168.1.2 : 554 / AVStream1_1
- 2) 2番目のストリーム> rtsp : //192.168.1.2 : 554 / AVStream1_2

【接続リスト】 接続されている監視デバイスのIPアドレスとポート情報。

マルチキャスト設定[ビデオアドレス] ビデオデータ送信用のIPアドレス

[ビデオポート] ビデオデータ送信用のポート番号

[ビデオTTL] ビデオデータを送信するときに通過するルーターの数を設定します。

【音声アドレス】 音声データ送信用のIPアドレス

【オーディオポート】 オーディオデータ送信用のポート番号

【音声TTL】 オーディオデータを送信するときに通過するルーターの数を設定します。

詳細設定

[RTSP認証を使用する] 認証プロセスが必要な場合は、ボックスをチェックしてください。

[RTCPを使用] RTCP機能が必要な場合はチェックしてください。

[RTP / RTCPキーブアライブを使用する] 「タイムアウト」機能が必要な場合はチェックしてください。

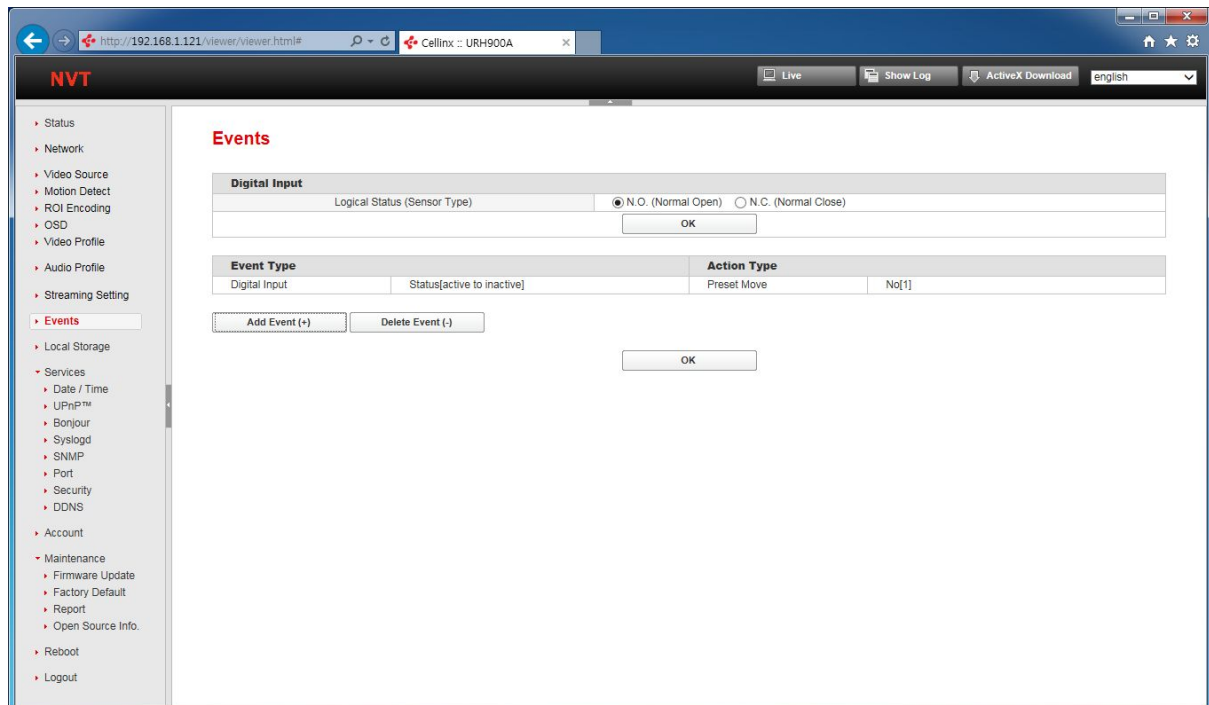
[Onvif Discoveryを使用する] Onvifによる自動登録機能を使用するかどうかのボックスをチェックします。

[Onvif WS-Securityを使用する] OnvifによるWS-Security機能が使用されているかどうかのボックスをチェックします。

【その他のプロトコル】 サポートされている他のプロトコルを表示します。

【OKボタン】 このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

イベント



▶ Web設定ページ (イベント)

デジタル入力

【論理ステータス (センサータイプ)】

- 接続されたデバイスの電気信号の通常の状態に従って設定します。(開閉)。

- 1) NO (ノーマルオープン) : 通常の状態が「オープン」の場合
- 2) NC (ノーマルクローズ) : 通常の状態が「クローズ」の場合

【OKボタン】 このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

【イベント追加 (+) ボタン】 このボタンをクリックして、イベントエントリを追加します。デジタル入力/モーション/タイマーのいずれかを選択します。以下の「イベントタイプ」と「アクションタイプ」を参照してください。

- イベントボタンの作成 : クリックして設定イベントを作成します。
- キャンセルボタン : クリックすると設定イベントをキャンセルします。

【イベント削除 (-) ボタン】 このボタンをクリックして、イベントエントリを削除します。

【OKボタン】 このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

1) イベントタイプ

- これは、発生したイベントの動作を定義します。

1-1) デジタル入力 : デジタル入力 (DI) が検出されると、イベントが発生します。検出状態は以下のように詳細に調整できます。状態

- アクティブから非アクティブ : DIの検出状態が非検出状態に変更されると、イベントが発生します。
- 非アクティブからアクティブ : DIの非検出状態が検出状態に変更されると、イベントが発生します。

- アクティブレベル : DIの検出状態が維持されると、イベントが維持されます。
- 非アクティブレベル : DIの非検出状態が維持されると、イベントが維持されます。

1-2) モーション : 動きが検出されると、イベントが発生します。

ROIs : 「Motion Detect」の設定値を参照してください。ステータス : 「オン」または「オフ」のいずれかを選択します。(オン : 検出時、オフ : 検出リリース時)

1-3) タイマー : イベントは定期的に発生します。間隔 : 1~86400の値を入力してください。(単位 : 秒)

2) アクションの種類

- これは出力の動作を定義します。

2-1) プリセットムーブ : PTZカメラが接続されると、コマンド「プリセット移動」がPTZカメラに送信されます。

- いいえ : 1~255の中から1つを選択します。プリセットはアイテム「ビデオソース」に設定する必要があります。

2-2) デジタル出力 : これは「リレー出力」を意味します。信号「デジタル出力」は、定義された時間までに送信されます。状態

- close to open : 信号「Digital Output」を「open」状態に送信します。

- open to close : 信号「Digital Output」を「close」状態に送信します。dwtime : 出力期間

参照シナリオ

1.緊急ベルが押されると、接続されているPTZカメラのビデオが緊急ベルが押された位置に移動します。

- 緊急ベルをNVTのコネクタ「デジタル入力」に接続します。

- NVTのWeb設定ページ>ビデオソース>カメラコントロール : PTZカメラを「プリセット番号1」の緊急ベルの場所に移動した後、「設定」ボタンをクリックします。

- 「イベント追加 (+)」ボタンをクリックし、以下のように設定します。

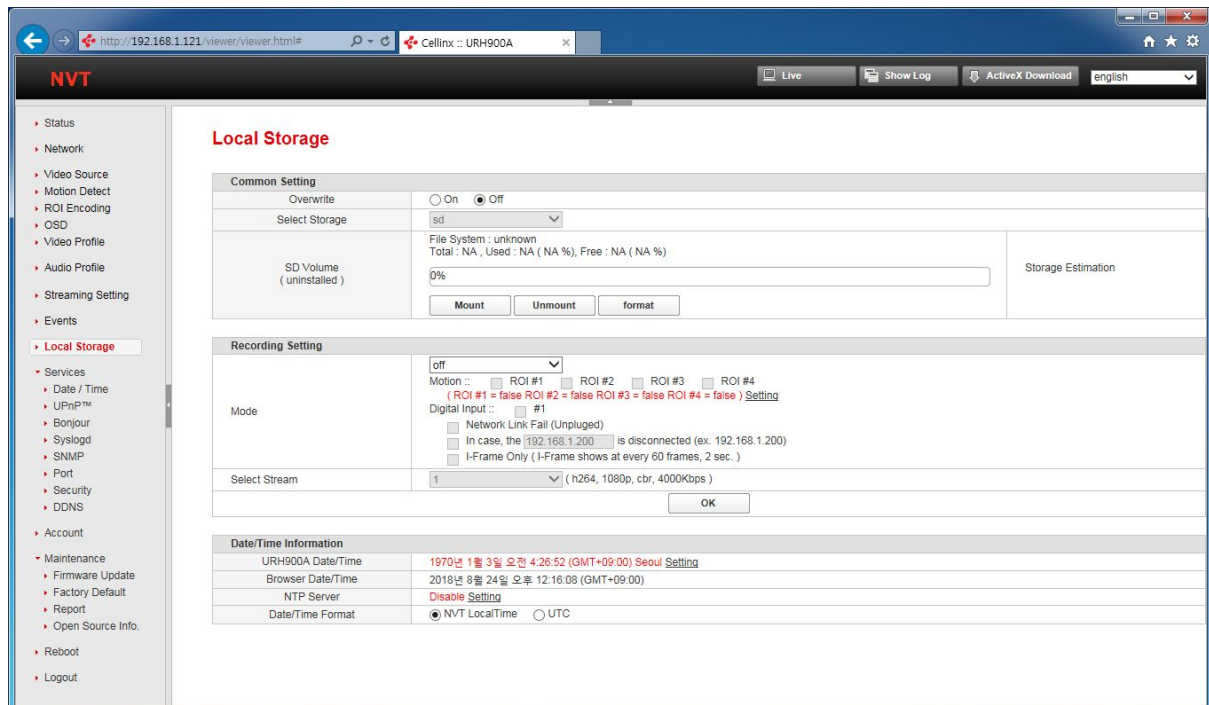
1) イベントタイプ : デジタル入力

2) ステータス : 非アクティブからアクティブ

3) アクションタイプ : プリセット移動

4) いいえ : 1

ローカルストレージ



▶ Web設定ページ (ローカルストレージ)

概観

- この機能は、SD / SDHCカードに対応した製品にメモリーカードが挿入されている場合に利用できます。

- 時間同期の問題

- 1) ビデオとNVT内部時間は、ローカルストレージ機能と一緒に保存されます。
- 2) NVTと監視用PCの時差は時間の経過とともに発生するため、定期的に特定のサーバーと時刻を同期させる必要があります。(「日付/時間」の項目を参照してください)

- VLCメディアプレーヤー

- 1) ページが初めて読み込まれるとき、VLCメディアプレーヤーがインストールされている必要があります。
- 2) 関連するActiveXプログラムは、インターネット接続環境でダウンロードできます。

共通設定【上書き】 「データの上書き」機能を使用するには、「オン」ボタンを選択します。

【ストレージを選択】 固定値

【SDボリューム】 メモリ情報は次の形式で表示されます。

- 1) ファイルシステム : FAT32
- 2) 合計 : 14.83ギガバイト
- 3) 使用 : 14.33ギガバイト (96.65%)
- 4) 無料 : 508 MB (3.35%)

【ストレージの見積もり】 推定保管時間を示します。

【マウントボタン】 ファイルシステムがメモリを使用できるようにします。

【アンマウントボタン】 メモリがファイルシステムによって使用されるのを防ぎます。

【フォーマットボタン】 メモリの内容をフォーマットします。

記録設定【モード】 「オフ (保存しない) / 継続 (継続保存) / イベント (イベント発生時の保存)」から1つ選択

選択できるイベントタイプ

1) モーション：モーションイベント

(ROIはモーション検知の設定値です。モーション検知を検知するには、少なくとも1つがtrueである必要があります。詳細については、「モーション検知」の項目を参照してください。)

2) センサー：NVTのアラーム入力またはデジタル入力を使用される場合の接触信号によるイベント。

3) Network Link Fail (Unplugged)：NVTのネットワークコネクタが削除されたときに発生するイベント。

4) [xxx.xxx.xxx.xxx]が切断された場合：PCとのネットワーク通信が利用できなくなったときに発生するイベント。

5) 1フレームのみ (1フレームは60フレームごと、2秒ごとに表示されます)：ビデオのメインフレームを保存する条件。空白の「(...)」の内容は、「ビデオプロファイル」の項目に設定されている値です。

[ストリームを選択] アイテム「ビデオプロファイル」のストリームから1つのストリームを選択します

【OKボタン】 このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

日時情報【機種名】日時 NVT時間情報 (組み込み時計)

[ブラウザの日付/時間] 監視PCの時刻情報

【NTPサーバー】

ローカルストレージ機能は、時刻同期設定の影響を受けます。

【日時フォーマット】 「NVT LocalTime / UTC」から1つ選択

ファイルリスト[時間 (バー)] データが存在する時間を表示します。

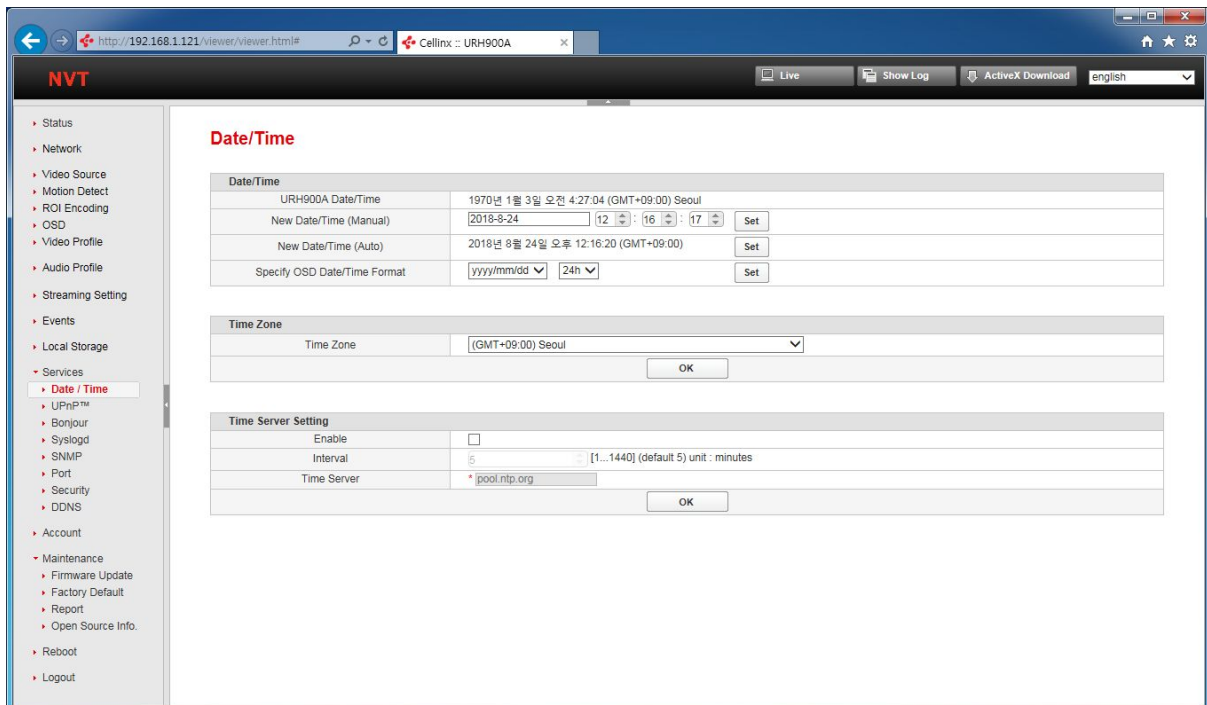
【カレンダー】 日付を選択してデータを検索

【ファイル形式】 ストリーム/開始/終了/エンコード/サイズ

【ダウンロードボタン】 選択したファイルをダウンロードします。

【削除ボタン】 メモリ上の選択したファイルを削除します。

日付時刻



▶ Web設定ページ (日時)

日付/時間[日付/時間] 現在の時刻を表示します。

[新しい日付/時刻 (手動)] 時間を手動で入力します。「設定」ボタンをクリックして、変更した値を適用します。

[新しい日付/時刻 (自動)] 時間をPCの監視時間と同期させます。「設定」ボタンをクリックして、変更した値を適用します。

[OSDの日付/時刻形式を指定] 日付と時刻の形式を設定します。「設定」ボタンをクリックして、変更した値を適用します。

時間帯[時間帯] 地域を設定します。

【OKボタン】 このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

タイムサーバー

- 時刻をタイムサーバーの情報と同期させることができます

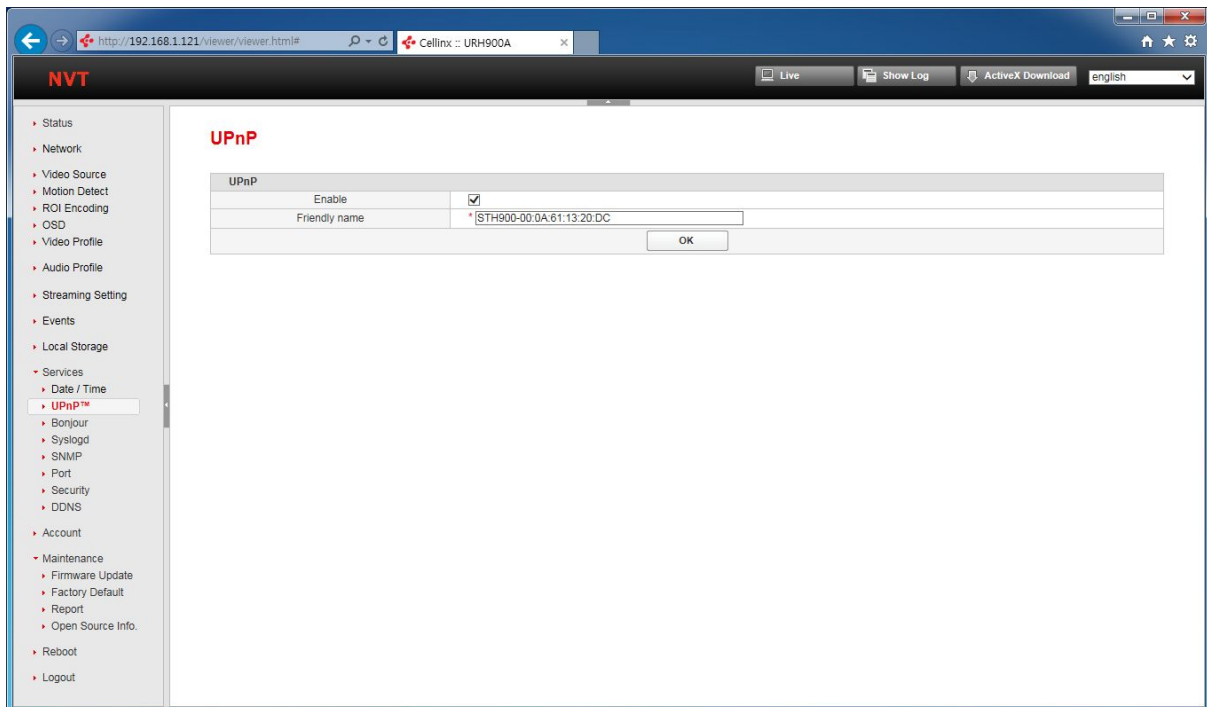
[有効にする] アクティベーションのチェックボックスをオンにします。

【インターバル】 タイムサーバーの時間情報を要求する期間 (分)

【タイムサーバー】 同期用のタイムサーバーのIPアドレスまたはホスト名

【OKボタン】 このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

UPnP



▶ Web設定ページ (UPnP)

UPnP

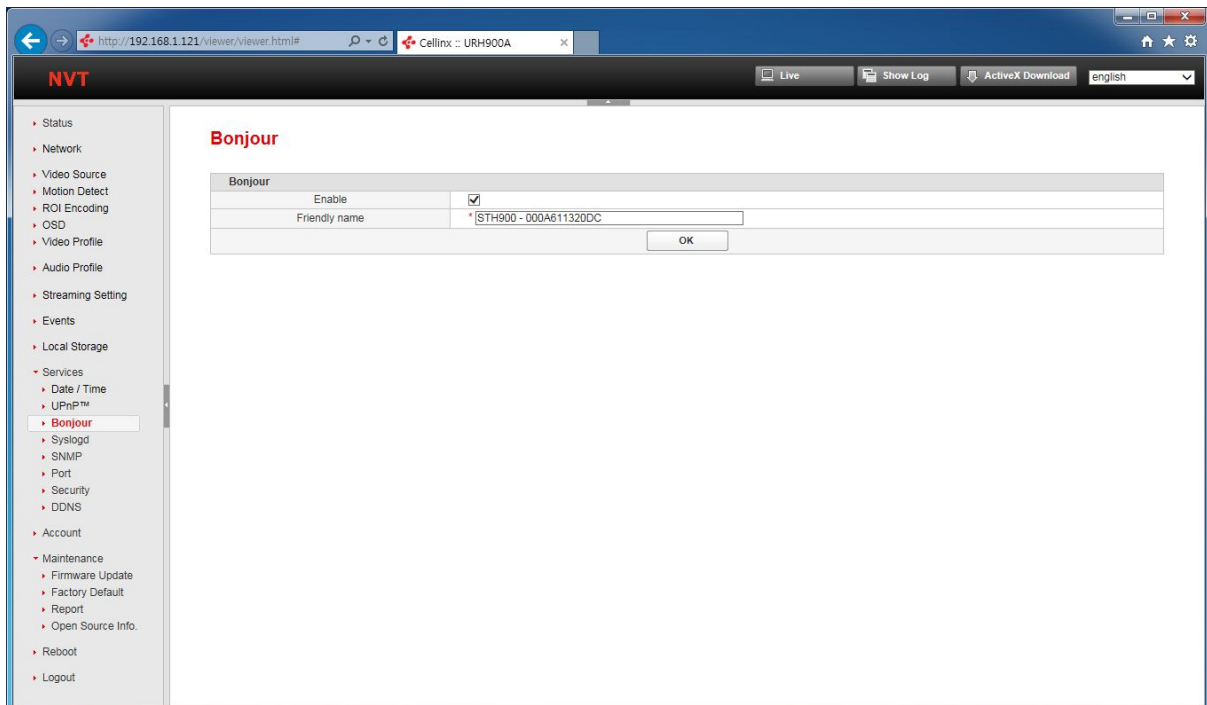
- WindowsエクスプローラーでNVTをスキャンし、クリックしてそれらにアクセスできます。Windowsエクスプローラーは、UPnPデバイスの検出をサポートする必要があります。

[有効にする] アクティベーションのチェックボックスをオンにします。

[分かりやすい名前] MACアドレスによって自動的に作成されます。チェックボックス「有効」にチェックを入れた後、変更できます。

[OKボタン] このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

Bonjour



▶ Web設定ページ (Bonjour)

Bonjour

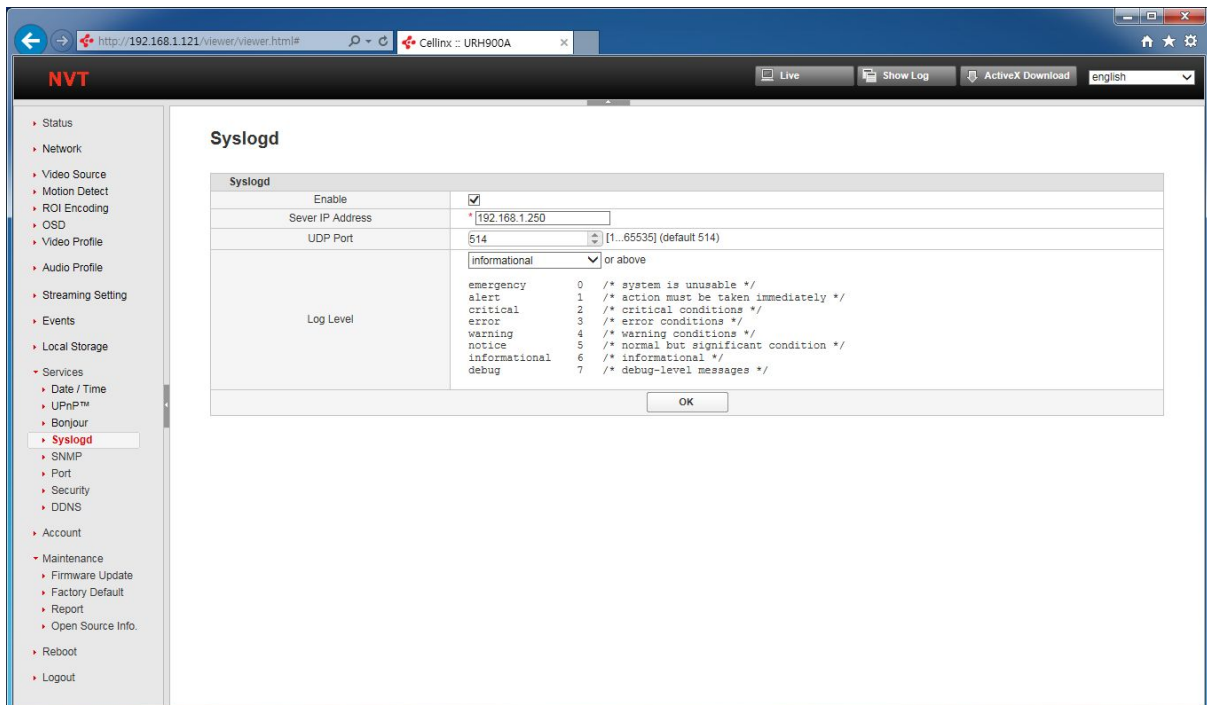
- WindowsエクスプローラーでNVTをスキャンし、クリックしてそれらにアクセスできます。Windowsエクスプローラーは、Bonjourデバイスの検出をサポートする必要があります。

[有効にする] アクティベーションのチェックボックスをオンにします。

[分かりやすい名前] MACアドレスによって自動的に作成されます。チェックボックス「有効」にチェックを入れた後、変更できます。

[OKボタン] このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

Syslogd



▶ Web設定ページ (Syslogd)

Syslogd

- NVTは、操作で発生したログファイルを送信できます。ログファイルを受信するPCプログラムについては、NVTサブライヤに問い合わせてください。

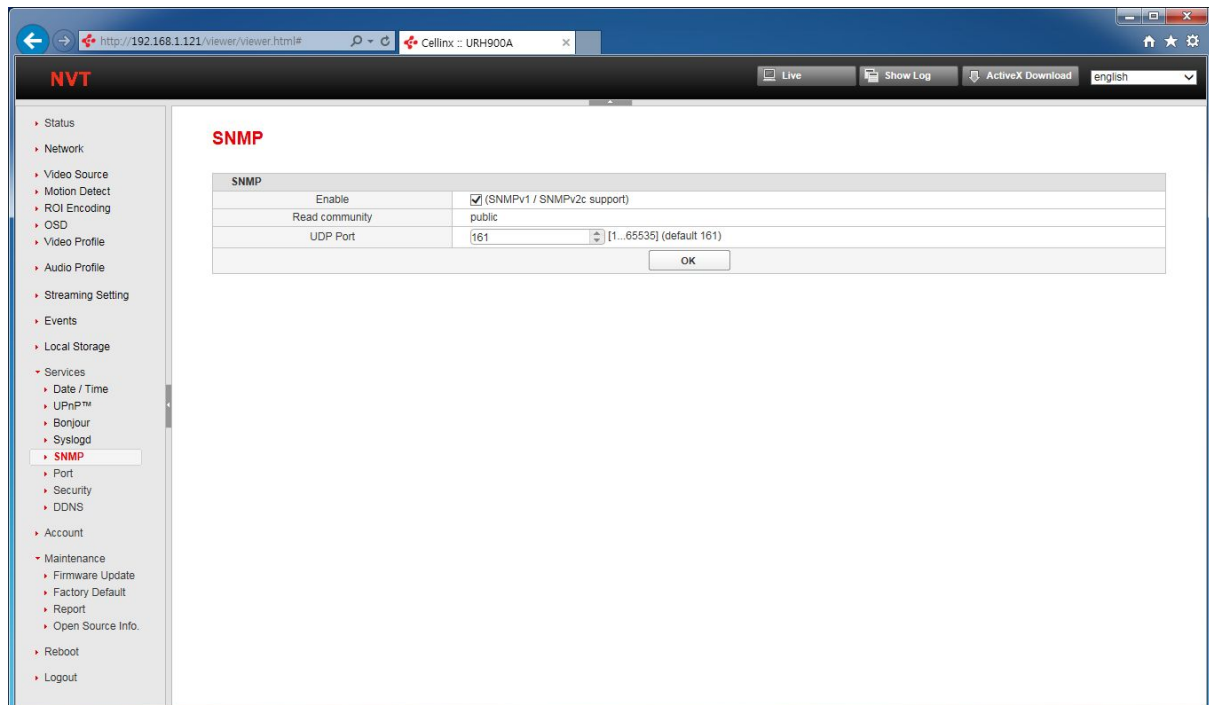
[有効にする] アクティベーションのチェックボックスをオンにします。

[サーバのIPアドレス] ログファイルを受信するPCのIPアドレス

[UDPポート] ログファイルを送信するためのポート番号

[ログレベル] ログ項目を選択します。

[OKボタン] このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

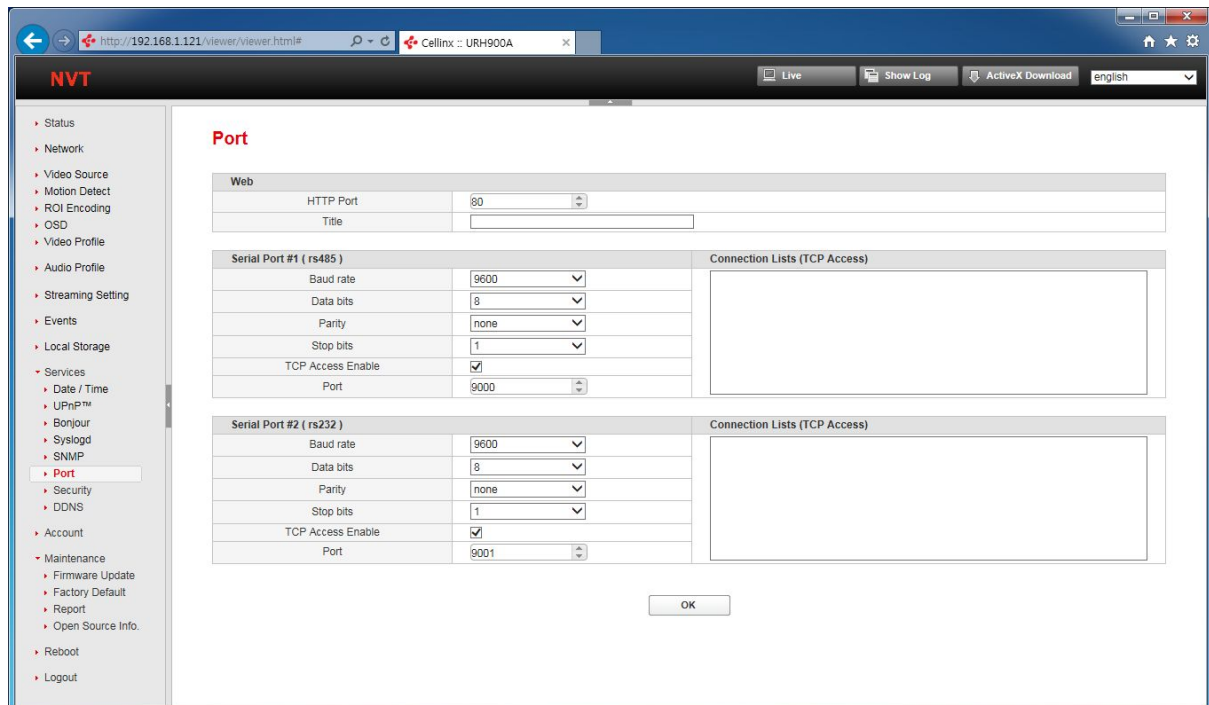
SNMP**▶ Web設定ページ (SNMP)**

SNMP [有効] アクティベーションのチェックボックスをオンにします。

[コミュニティを読む] 実行モードは「パブリック」です。(修繕)

[UDPポート] 使用するポート番号

ポート



▶ Web設定ページ (ポート)

概観

- データ通信用のポート番号を設定します
- サポート機能はモデルによって異なります。

Web (HTTP) [ポート] Webポート番号

[題名] ブラウザタブの名前は変更できます。

シリアルポート #1 (rs485)

- これは、PTZレシーバーとしての外部デバイスとのデータ通信用です。(RS485、RS422など)
- PTZカメラ (受信機) が接続されている場合、「ビデオソース」の項目でIDとプロトコルを設定します。

[ボーレート、データビット、パリティ、ストップビット] 値は、通信するデバイスの値と同じである必要があります。

[有効にする] TCP接続機能の有効化のチェックボックスをオンにします。

[ポート] シリアル通信のポート番号

接続リスト (TCPアクセス)

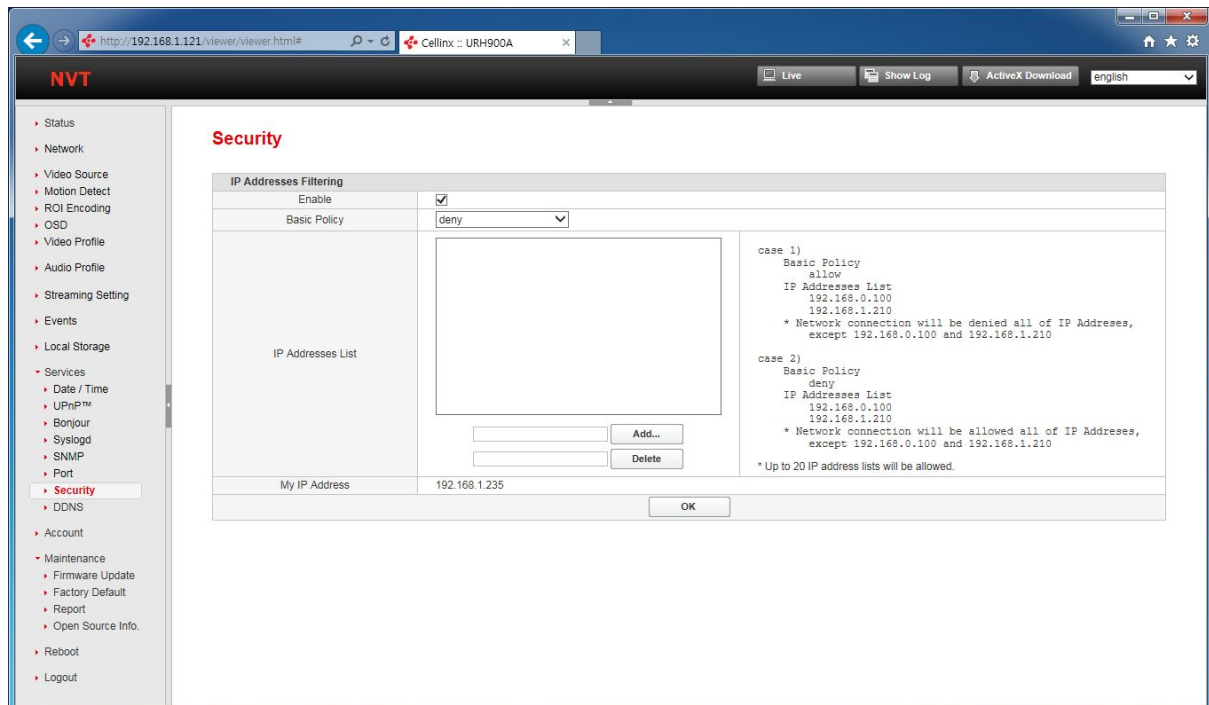
- 接続されているデバイスのIPアドレスが表示されます。

シリアルポート #2 (rs232)

- これは、外部デバイスとの特別な目的のシリアルデータ通信用です。
- 「シリアルポート #1」の項目を参照して設定してください。

[OKボタン] このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

安全保障



▶ Web設定ページ (セキュリティ)

IPアドレスフィルタリング[有効] アクティベーションのチェックボックス

をオンにします。

【基本方針】 「許可」/「拒否」から1つ選択

【IPアドレス一覧】 「追加」「削除」ボタンでフィルタリング用のIPアドレス一覧を作成

【私のIPアドレス】 接続しているPCのIPアドレスを表示します。

【OKボタン】 このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

DDNS

The screenshot shows the 'Dynamic DNS' configuration page in the NVT web interface. The browser address bar shows 'http://192.168.1.121/viewer/viewer.html#'. The sidebar on the left lists various settings categories, with 'DDNS' highlighted. The main content area is titled 'Dynamic DNS' and contains two sections:

- IPv4 DDNS:**
 - Enable:
 - Select Service: DynDNS ddns.nu ProutDNS No-IP
- DynDNS:**
 - DDNS server:
 - DDNS ID:
 - DDNS Password:
 - Host name:
 - Interval: Sec.

An 'OK' button is located at the bottom right of the form.

▶ Web設定ページ (DDNS)

IPv4 DDNS [有効] アクティベーションのチェックボックスをオンにします。

【サービス選択】 使用するサービスを選択します。

DDNSサーバーのホームページの登録プロセスで使用される情報を入力します。

【OKボタン】 このボタンをクリックして、変更した設定値を適用します。

アカウント

The screenshot shows the NVT web interface. The browser address bar displays `http://192.168.1.121/viewer/viewer.html#`. The page title is "Account". On the left is a sidebar menu with categories like Status, Network, Video Source, etc., and "Account" is selected. The main content area features a table with columns: ID, Setting, Live View, I/O (PTZ, DO, Serial Port), and an "Add User" button. Below the table are two configuration rows: "Guest Login Enable" (checked) and "Max Number Of Clients" (set to MAX(20)).

| ID | Setting | Live View | I/O (PTZ, DO, Serial Port) | |
|-------|---------|-----------|----------------------------|--------|
| root | Yes | Yes | Yes | Modify |
| guest | No | Yes | No | |

Configuration options:

- Guest Login Enable: Set
- Max Number Of Clients: MAX(20) Set

▶ Web設定ページ (アカウント)

【ユーザー追加ボタン】 アカウントを追加するにはクリックしてください。

【変更ボタン】 クリックして登録済みアカウントを変更します。

The dialog box titled "Modify & Create new user" contains the following fields and options:

- All form fields are required.
- Admin Password:
- ID:
- New Password:
- Confirm Password:
- I/O (PTZ, DO, Serial Port)
- Buttons: Apply, Cancel

▶ [新しいユーザーの変更と作成]ダイアログボックス

新しいユーザーの変更と作成[管理者パスワード] アカウント「root」のパスワードを入力

【ID】 追加するIDを入力

【新しいパスワードの確認パスワード】 追加するIDのパスワードを入力します。

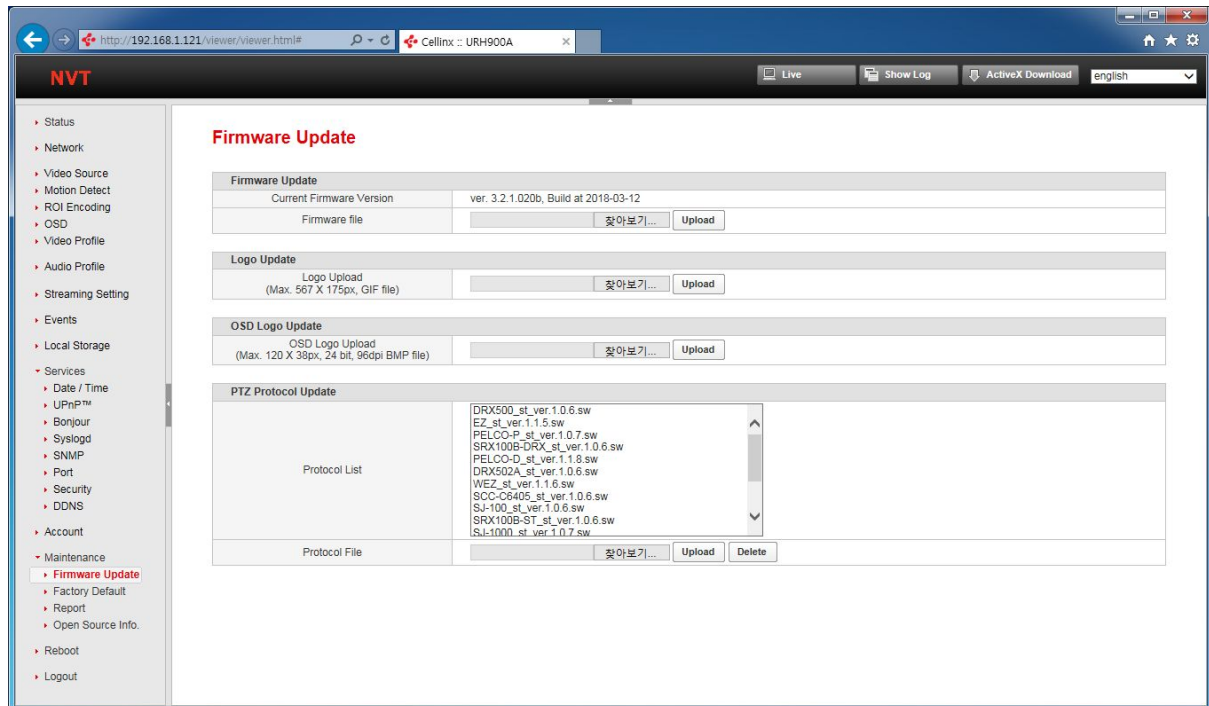
【I/O (PTZ、DO、シリアルポート) チェックボックス】 アクティブーションを確認します。これは、入力と出力の権限を意味します。

【適用/キャンセルボタン】 「適用」ボタンをクリックして適用するが、「キャンセル」ボタンをクリックしてキャンセルします。

【ゲストログイン有効チェックボックス】 ゲストのアクセスの許可を確認してください。「設定」ボタンをクリックして設定を適用します。

【クライアントの最大数】 最大許容接続数は20です。(固定)

ファームウェアアップデート



▶ Web設定ページ (ファームウェアアップデート)

ファームウェアアップデート

【現在のファームウェアバージョン】 現在のファームウェアのバージョンを表示します。

【ファームウェアファイル】 「参照...」ボタンをクリックして、更新するファイルを選択します。そして、「アップロード」ボタンをクリックして更新します。更新時には、電源を維持する必要があります。(10分)ファームウェアの更新後もネットワーク設定は保持されます。(ビデオ設定が初期化されます。)

ロゴの更新[ロゴのアップロード] 「参照...」ボタンをクリックして、更新するファイルを選択します。そして、「アップロード」ボタンをクリックして更新します。

OSDロゴの更新[OSDロゴのアップロード] 「参照...」ボタンをクリックして、更新するファイルを選択します。そして、「アップロード」ボタンをクリックして更新します。

PTZプロトコルの更新[プロトコルリスト] 現在使用できる制御プロトコルを表示します。

【プロトコルファイル】 「参照...」ボタンをクリックして、更新するファイルを選択します。そして、「アップロード」ボタンをクリックして更新します。

【削除ボタン】 登録済みのプロトコルと同じ名前プロトコルがアップロードされている場合は、このボタンを使用して登録済みのプロトコルを削除します。

参照

- 新しいプロトコルがアップロードされている場合は、項目「ビデオソース/カメラコントロール」で新しいプロトコルを選択し、「設定」ボタンをクリックしてプロトコルを適用します。

工場出荷時の設定

The screenshot shows the 'Factory Default' settings page in a web browser. The browser address bar shows 'http://192.168.1.121/viewer/viewer.html#'. The page title is 'NVT'. The left sidebar contains a navigation menu with categories like Status, Network, Video Source, etc. The main content area is titled 'Factory Default' and features a 'Reset' button. Below the button are several checkboxes for selecting configuration groups: General, Camera, Network, VideoInput, AudioInput, AudioOutput, OSD, Record, SerialPort, InputPin, OutputPin, and Events. The 'Network' section is expanded, displaying a table of service settings.

| | | |
|-----------------------------------|-------------|--------------------------|
| Services » UPnP » FriendlyName | | STH900-00:0A:61:13:20:DC |
| Services » Bonjour » FriendlyName | | STH900 - 000A611320DC |
| _1 » StaticIpAddress | 192.168.1.2 | 192.168.1.121 |

▶ Web設定ページ (工場出荷時)

[リセットボタン] ボタンをクリックすると、変更した設定値が初期化されます。(初期化する値を選択してからクリックします。)

[変更された値のみを表示するチェックボックス] 変更された値のみを表示するかチェックします (デフォルト)

[すべて選択チェックボックス] 初期化するすべてのグループを選択します。

報告する

The screenshot shows the 'Report' page in the CamPilot URH900A web interface. The page is titled 'Report' and features a 'Print' button at the top. Below the title is a camera view showing a staircase. The page is divided into three main sections, each with a table of system information:

| Running Time | |
|--|---|
| Running Time | 1 day, 19:28 |
| Web Components Version | 1.1.6.3 / 2.0.0.30 |
| Boot Loader Version | U-Boot 2010.06 (Oct 01 2013 - 02:27:23) |
| Camera Module Info | 1080p_30fps |
| Local Storage Info | [sd] uninstalled [usb] uninstalled |
| CPU Temperature (Min. / Current / Max.) | 64 / 66 / 71 (unit : °C) |

| Client PC Info. | |
|-----------------|---|
| OS | Windows 7 |
| Web Browser | Mozilla/5.0 (Windows NT 6.1; WOW64; Trident/7.0; SLCC2; NET CLR 2.0.50727; .NET CLR 3.5.30729; .NET CLR 3.0.30729; Media Center PC 6.0; NET4.0C; NET4.0E; rv:11.0) like Gecko |

| General | | |
|-----------------------|---------------------|--------------------------------------|
| SerialNumber | | S145000476 |
| FirmwareVersion | | ver. 3.2.1.020b, Build at 2018-03-12 |
| Brand » CompanyName | | Cellinx |
| Brand » ProductName | URH900A | URH900A |
| Language | english | english |
| Security » AllowGuest | true | true |
| DateTime » TimeZone | Korea_Standard_Time | Korea_Standard_Time |
| DateTime » EnableDST | false | false |
| DateTime » DateFormat | yyyy/mm/dd | yyyy/mm/dd |
| DateTime » TimeFormat | 24h | 24h |

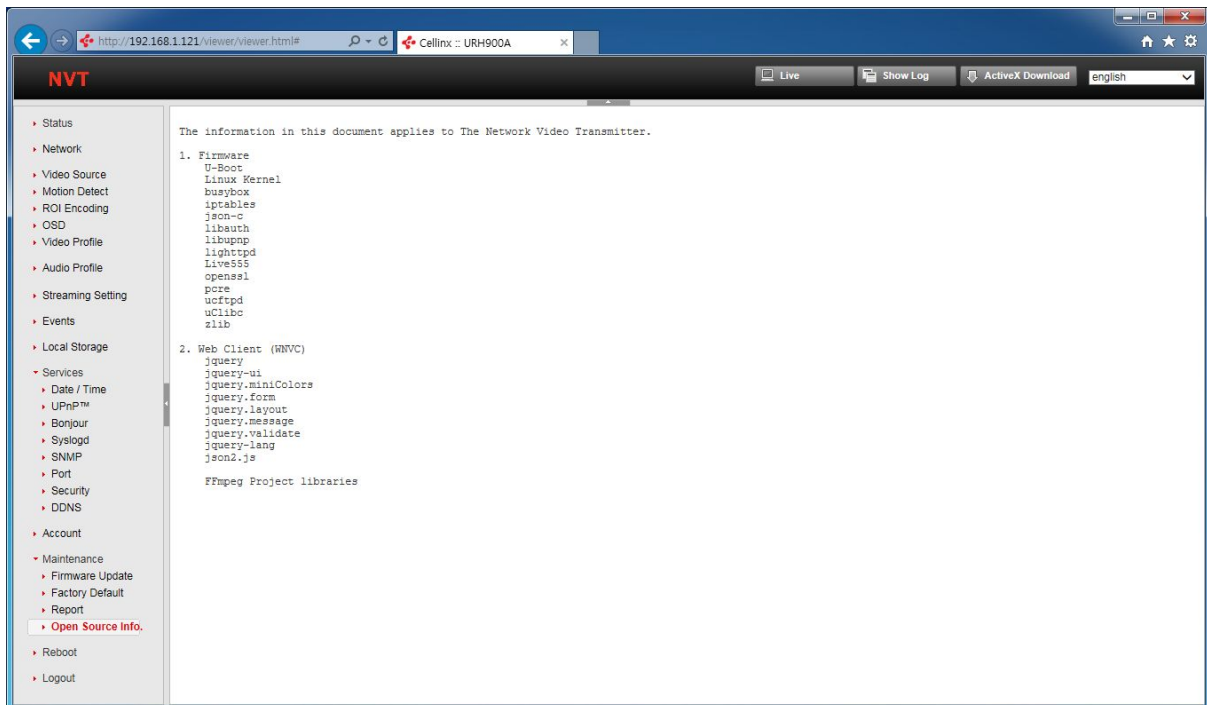
▶ Web設定ページ (レポート)

概観

- このページには現在の設定値が表示され、印刷したりPDFファイルにしたりできます。PDFファイル出力の場合、PDF出力プリンター項目はPC上にある必要があります。

【印刷ボタン】 「レポート」ページを出力します。

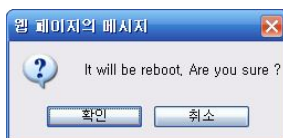
オープンソース情報。



▶ Web設定ページ (オープンソース情報)

レポート

- 「再起動」というテキストをクリックして、NVSを再起動します。



▶ 再起動の確認

ログアウト

- これにより、最初のWebページに移動できます。